

いろどり 彩

第 34 号 令和 2 年 2 月 29 日 (土)

如月

第 1 学年 学年通信

文責 竹川由紀子

休校要請をうけて

首相の要請をうけ、本校でも休校措置をとることとなりました。

各ご家庭や保護者のみなさまの職場でも、この件についてたくさん話をされたと思います。前例のない事態に困惑する毎日ですが、今が危機迫る緊急事態であることの自覚を強く持ち、平常の回復をめざして過ごすことが一人ひとりに課せられた責務であると感じています。

私が首相の休校要請を知ったのは、27日の夕方、何の前ぶれもなく飛び込んできたインターネット記事、そしてテレビで流された報道でした。生徒たちが下校した後には知らされたニュースで多くの職員が戸惑い、翌日からの学校生活を危惧しました。

報道の翌朝、登校した生徒たちは会話の中でこれからの学校生活の不安を口々に話し、そわそわしている様子でした。朝学活で各担任より附属中学校としての対応が伝えられると、今後の自分たちの生活を理解し、普段通りの学校生活に向き合おうとする生徒が多かったようです。28日は平常通り6限授業を行いました。今年度最後の授業だということを感じ、授業後のふりかえりに1年間で学んだことや次年度への意気込みを書く生徒もいました。今年度はこのような状況で年度末を迎えますが、生徒たちが一年間で身につけた力はとても大きく、今後の生活を支える土台となったことは言うまでもありません。今後の状況次第で、日程に変更が生じるかもしれませんが、学校生活は必ず再開しますし、新年度の生活も始まります。最新の情報に注意しながら、状況を判断して行動していきましょう。今後の生活では、まずは健康、安全を第一に考えて過ごしてほしいと思います。

3月24日(火) 修了式の予定

日付	曜日	1限	2限	3限	4限	給食	5限	6限	備考・持ってくるもの
3/24	火	大掃除	修了式	学活	離任式	なし			通常登校 8:10 ※ 進路希望調査表 ※ キャリア学習レポート(清書) 下校 11:00

この2日間、生徒たちはクラスで出された指示を聞き、冷静に行動できていました。大人でも困惑する状況の中、普段通りの学校生活を送ることができた生徒たちは立派だったと思います。休校期間前の通信として伝える内容がふくらみ、文字が多くなってしまったことをお許しください。

